

## 1.新春のご挨拶

(財)日本防火協会  
常務理事 小林弘明

平成16年の輝かしい新春を迎え、全国各地の消防クラブ・防火クラブの皆様並びに消防関係機関の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

また、常日頃から防火防災に心を配られ、火災のない安全な街づくりに日夜ご努力されている皆様に心より敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

(財)日本防火協会では、人々が安心して生活できる地域づくり、街づくりのために、設立以来一貫して防火思想の普及啓発、そして民間防火組織拡大と育成振興に力を注いでまいりました。

特に、幼少年消防クラブについては、奉仕の精神の大切さ、心の教育などの幼少年教育を重視し、防火活動を通じて自立する心、他を思いやる心を培い、明日の日本を背負う人間形成に心がけております。

また、婦人防火クラブについては、主婦として火を取り扱う機会が比較的多いことから、家庭から火災をなくすための最前線として、家庭における防火意識の高揚と、さらにはその組織づくりや連携により防火防災の輪が拡大するよう、直接、間接に防火防災普及啓発事業を展開し、地域社会の安全・安心に大きな役割を果たしてまいりました。その結果、全国各地に幼少年消防クラブ・婦人防火クラブの組織が広がり、今や民間防火組織の中核として活躍されております。



このように民間防火組織が大きく成長できましたのも、消防機関等関係者の皆様との並々ならぬご協力、ご支援があればこそと厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、九州地方を襲った集中豪雨をはじめ、宮城県そして十勝沖で発生した地震等多くの災害に見舞われ、尊い命や大切な財産が失われました。被災地の皆様には改めて心からのお見舞いを申し上げます。

申すまでもなく、日本は災害多発国であり、災害は年々複雑多様化してきております。いつ、どこで、何があっても「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもとに、地域が一体となった消防防災体制の確立を図ることが大切です。

当協会の事業の推進は、皆様方の絶大なるご協力とご支援を必要とするものでありますので、今後とも引き続きご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。